

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括表

事業名	新たな魅力実証事業
事業主体 (連絡先)	売木村 (0260-28-2311)
事業区分	(6)産業振興及び雇用拡大に関する事項 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,087,182円(うち支援金:1,087,000円)

事業内容

春のイベントに新たな体験型観光と新たな食を提案し、三遠南信地域に広く情報発信した。

《サイクル事業》

平成21年4月25日(土)開催

平岡駅からこまどりの湯まで輪行を実施

ガイド含め11名での輪行 約27km

自転車で売木村へ訪れることが可能であることと、電動アシスト車での輪行も可能であることを実証



《FM事業》

平成21年4月26日(日)実施

11:00から1時間 飯田、豊橋、浜松の各FM放送局より売木村から生放送

サイクリング、天日干し野菜、ライスコロケ、うるぎ米など、売木村の新たな魅力を発信



《物産展事業》

平成 21 年 4 月 26 日(日)開催

9:00～15:00 約 600 名来場

出店団体は、地元売木村のほか、浜松市、新城市、阿智村など三遠南信各地より参加。総勢 11 団体。

摘み草や乾燥野菜のほか、木工芸品や色紙など多彩な品が並んだ



自己評価(事業実施率) 【 A 】

事業効果

【目標・ねらい】

《サイクル事業》

- ・売木村への新たな来訪及びレジャーのアイテムとして自転車が活用できないかを検証する。
- ・省エネ、エコ対策として導入した電動アシスト自転車が、観光事業にも活用できるか検証する。
- ・観光事業を村内に絞らず、広域的に拡大し、多様性があり魅力的なものにする。

《FM事業》

- ・大型連休を前に、売木村の新たな取り組みを発信するとともに、サイクル王国南信州を広報する。

《物産展事業》

- ・農作物の少ないこの時期、地元団体にこだわらず広く出展者を募り、三圏域の交流を主軸とした物産展とする。
- ・新たな特産品を開発し、試験的に販売する。

【事業実施後目標に対しての効果】

《サイクル事業》

- ・新たな鉄道の利用方法について報道等を通して情報発信をすることができた。
- ・自動車ではあまり利用が期待できない路線でも、自転車では魅力的な箇所が多く好評であった。また比較的危険性も少ないことが確認できた。

- ・電動アシスト自転車は、初心者が長距離であっても十分に楽しむことが出来ることが実証でき、長距離のサイクリングが限られた者のレジャーでないことが確認できた。
- ・今後サイクリングを地域振興の重要なアイテムとして利用していく確証が得られた。

《FM事業》

・様々な売木村の活動を三遠南信地域に情報発信することにより、新たなイメージが生まれた。また、自転車による観光振興に取り組んでいる南信地域にとって、三遠地域への強いアピールができた。

《物産展事業》

- ・三遠南信の名のとおり、三圏域から広く出展団体があり、住民との交流を深めることができた。
- ・摘み草、天日干し野菜に続く新たなうるぎ米による食品開発に取り組むことが出来、以後の物産展でも出品して好評を得、新たなブランド品として確立しつつある。

自己評価(事業実施率) 【 A 】

今後の取り組み

今回の事業は、村外からの参加者によるホームページやブログによって多く情報が発信され、温泉とは違った売木村の新たな魅力の情報発信がされ、大型連休以後、県境を越えてのサイクリストが多く見受けられるようになった。今後、村内はもとより、周辺町村の魅力を拾い出し、滞在拠点として売木村を位置付けていきたい。

物産展に関しては、初めて住民レベルにて三遠南信地域間交流が図られた。今後さらに物産展に限らず人的交流が出来るよう仕掛けていきたい。